

小樽市歴史文化基本構想 と 小樽文化遺産

小樽市教育委員会教育部生涯学習課

◆小樽文化遺産とは？

平成 31 年 3 月、小樽市では、「小樽市歴史文化基本構想」を策定しました。

この構想では、地域を構成する多様で価値が高いと考えられる文化財（指定、未指定を含む）のみならず、その周辺環境との関係のもとに形成されるさまざまな価値を総体的に組み入れながら、市民が暮らしの中で大切に受け継いできた歴史的、文化的、自然的遺産を含む物事を拾い上げ、それらを「小樽文化遺産」と名付けました。

「小樽市歴史文化基本構想策定委員会調査部会」（任期：平成 28 年 11 月から平成 30 年 3 月）による調査では、約 2,000 件の小樽文化遺産の情報が集まりました。

歴史文化基本構想では、まず小樽文化遺産を特徴ごとに 6 種類のジャンルに整理しました（表 1）。

また、ジャンルを超えた小樽文化遺産を組み合わせることによって浮かび上がる、小樽の歴史文化を示すさまざまなテーマを「関連文化財群」として、8 つに分類しました（表 2）。

【表 1】小樽文化遺産のジャンル分類

	ジャンル名	主な具体例
1	文字で伝えられた文化遺産	公文書、古文書、日誌・日記、地図
2	モノに込められた文化遺産	考古学の遺物、句碑・歌碑、カメラ、仏像
3	建築・土木・史跡 土地に刻まれた文化遺産	遺跡・史跡、建物、橋、トンネル、ダム
4	景観から生まれた文化遺産	小樽の景観をモチーフにした絵画や文学作品
5	暮らしとともにある文化遺産	風習、祭礼、食文化
6	私たちを包む自然と文化遺産	動植物並びにそれらのはく製や標本

【表 2】関連文化財群

1	近世以前の自然・地形を生かした暮らしの文化遺産群	5	歴史を伝える画像資料群
2	ニシンとともにやってきた文化遺産群	6	小樽の風土を象徴する自然遺産群
3	北海道の玄関として築かれた港と鉄道の文化遺産群	7	水と産業の文化遺産群
4	北日本随一の経済都市の面影を伝える文化遺産群	8	民の力・協働と互助の文化を示す文化遺産群

★小樽文化遺産と関連文化財群はどう違うの？

小樽文化遺産は「小樽らしさ」を示すそれぞれの素材、そして関連文化財群はそれらの素材で編み出される「小樽らしいストーリー」です。